



教授(特任)

自己紹介

岡山県の教員として、聾学校、小学校の通常学級や難聴学級、知的の特別支援学校に勤務してきました。聾学校では、小学部、通級による指導、幼稚部、乳幼児教育相談などを担当しました。

長い教員生活で培った様々な経験から、さらに学びを深め、研究活動に取り組んでいきたいと思っています。

よろしくお願いします。

専門分野・研究テーマ

聴覚障害教育は、早期からの教育が重要と言われています。補聴器の進歩や人工内耳の装用により、聴覚を活用してコミュニケーション力を高めているお子さんも、「学習言語」の習得に課題を抱える場合があります。それぞれの年齢や発達段階に応じた教育について考えていきたいと思っています。

① 乳幼児教育相談

0歳児から、様々な経験を通して、意図的に動作や言葉で働きかけ、ことばの獲得へと導きます。保護者の役割は大きく、前向きな姿勢で養育に取り組むことができるように支えます。

② 聴覚障害幼児のことばの指導

やりとりを基盤とし、生活経験に根差したことばの着実な積み上げが大切です。読み書きにつながる日本語の音韻意識を育てるために、サインや文字、指文字を通じて一つ一つの音を意識できるように取り組みを考えます。

③ 通級による指導(難聴)

難聴児が在籍する通常の学級で、「聞こえにくさ」による困難や不利益が軽減され合理的かつ適切な配慮が受けられるようにする働きかけについて、学齢期のことばの習得について考えます。



乳幼児教育相談の手作り教材



音韻意識を育てる教材

学生へのメッセージ

これまでに出会った先生方や子どもたち、保護者の方々は、私にとってかけがえのない宝物です。教師という仕事は、出会った方々と、互いに高め合うことができる素晴らしい職業だと思います。聴覚障害教育を中心に、精一杯お伝えしていきたいと思っています。どんな疑問でも、小さな悩みでも、遠慮なく声をかけてください。